

## メラノーマにおける新しい治療標的分子の探索研究

2011年1月1日から2022年03月31日までに悪性黒色腫のために生検あるいは手術治療を受けた患者さん

### 研究協力をお願い

当部門では「メラノーマにおける新しい治療標的分子の探索研究」という研究を日本医科大学中央倫理委員会の承認並びに研究機関の長（学長：弦間昭彦）の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、他の研究機関との共同研究として、2011年1月1日より2022年3月31日までに日本医科大学付属病院皮膚科にて、悪性黒色腫のため生検あるいは手術治療を受けられた患者さんの腫瘍組織に含まれる分子を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。本調査で用いた情報は、共同研究機関へ提供させていただきます。直接のご同意はいただきず、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### （１）研究の概要について

研究課題名：メラノーマにおける新しい治療標的分子の探索研究

研究期間：実施許可日～2027年3月31日

当部門における研究責任者：日本医科大学 先端医学研究所 生体機能制御学部門 三浦奈美

### （２）研究の意義、目的について

現在メラノーマにおいて、BRAF 遺伝子変異のある場合には BRAF 阻害剤と MEK 阻害剤の併用による治療が推奨されております。しかしながら、BRAF 遺伝子変異は日本のメラノーマ患者さんの約 30%程度にしかなく、この治療の対象とならない患者さんも多くいらっしゃいます。今回の研究では、メラノーマにおいて新しい治療の標的となる分子を探索することを目的といたします。

### （３）研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類および外部機関への提供について）

2011年1月1日より2022年3月31日までに日本医科大学付属病院皮膚科にて生検あるいは手術を受けられた患者さんについて、以下の試料・情報を収集、使用いたします。

試料：手術時に切除した皮膚・皮下組織、リンパ節組織

情報：年齢、性別、手術日（治療日）、診断名、病期、腫瘍組織の遺伝子変異など

利用を開始する予定日：実施許可日

提供を開始する予定日：実施許可日

試料・情報の提供を行う機関：日本医科大学付属病院（院長：汲田伸一郎）

試料・情報の提供を受ける機関：日本医科大学（学長：弦間昭彦）

試料・情報の取得の方法：研究目的でない診療の過程で取得

これらの試料・情報は、日本医科大学付属病院から日本医科大学へ提供されます。日本医科大学と共同研究機関で加工された状態で厳重に保管いたします。これらの試料・情報は、日本医科大学と日本医科大学付属病院で加工された状態で、セキュリティ管理された研究グループが管理するサーバーで厳重に保管いたします。

### （４）共同研究機関（試料・情報を利用する者の範囲および試料・情報の管理について責任を有する者）

研究代表機関：日本医科大学 先端医学研究所 生体機能制御学部門

研究全体の責任者：日本医科大学 先端医学研究所 生体機能制御学部門 三浦奈美

試料・情報の管理の責任者：日本医科大学付属病院 皮膚科 山田麻以

その他の共同研究機関：日本医科大学付属病院（研究責任者：帆足俊彦） 池袋西口病院（研究責任者：船坂陽子）

### （５）個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省 告示第1号）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

**(6) 研究成果の公表について**

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

**(7) 問い合わせ等の連絡先**

日本医科大学先端医学研究所生体機能制御学部門 三浦 奈美

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：5588

メールアドレス：nami-miura @nms.ac.jp